

(別紙2)

令和〇年度〇〇小学校 心のバリアフリー障がい者理解教育全体計画 (例)

学校教育目標

学校教育目標

心のバリアフリー障がい者理解教育目標

○学校の教育活動全体を通して、互いを尊重し、共に学ぼうとする人間関係を育成するための指導の充実
○障がいの特性や障がいのある人の立場を理解し、共によりよく生活するための方法や工夫について考え、行動しようとする態度の形成に向けた指導の充実

目指す児童像

低学年	中学年	高学年
○互いのよさや違いに気づき、みんなで助け合って活動できる児童 ・障がいのある人が身近に生活していることを知っている児童	○障がいについて学習したことを基に、障がいのある人と一緒に活動できる児童 ・障がいのある人と自分との共通点や相違点について知っている児童	○障がいのある人の気持ちにより添って、主体的に行動できる児童 ・障がいのある人の生活する上での困難さに気づき、共感することができる児童 (目に見える障がいについて)

学級経営における重点目標

低学年	中学年	高学年
○自分や友達のよさに気づき、一緒に仲よく生活することができる学級	○互いのよさや違いを認め合い、協力して生活することができる学級	○一人一人の思いや願いを大切に、信頼し協力し合って生活することができる学級

生活科、総合的な学習の時間、特別活動、特別の教科道徳、各教科に関する指導の重点目標

領域等	低学年	中学年	高学年
生活科/ 総合的な学習の時間	・障がいのある人と遊んだり活動したりすることを通して、相手のことを想像したり伝えたいことや伝え方を選んだりする。	・障がいのある人との交流や障がい疑似体験を通して、障がいを身近なこととして考え、相手の気持ちを考えて行動しようとしている。	・福祉体験やボランティア活動を通して障がいのある人や高齢者の気持ちに寄り添い、自分でできることを考えて行動しようとしている。
特別活動	・交流及び共同学習を通して、障がいのある人の存在に気づき、一緒に楽しく活動しようとしている。 ・自分や友達のよさに気づき、仲よく生活しようとしている。	・自分や友達のよさを知り、互いに認め合いながら生活しようとしている。	・自分や友達の長所を理解するとともに互いに協力し合いながら生活しようとしている。
特別の教科道徳	・友達と仲良くし、助け合おうとする気持ちをもつ。 ・障がいのある人の存在に気づき、温かい心で接しようとしている。 ・お世話になっている人の存在に気づき感謝しようとしている。	・友達と互いに認め合い、助け合おうとする気持ちをもつ。 ・障がいのある人のことを思いやり、親切に接しようとしている。 ・自分を支えてくれる人の気持ちを考え感謝しようとしている。	・友達との信頼関係を深め、互いに協力しようとする気持ちをもつ。 ・障がいのある人や支える人のことを思いやり、親切に接しようとしている。 ・日々の生活が、障がいのある人を含めた多くの人々の支え合いや助け合いで成り立っていることに感謝し、それに応えようとしている。 ・差別や偏見をもつことなく、公正、公平な態度で接しようとしている。
各教科	・バリアフリーやユニバーサルデザインに関する学習を通して、障がいのある人に対する関心をもつことができる。	・バリアフリー、ユニバーサルデザインの設備や盲導犬に関する学習を通して、障がいのある人の生活や支援について関心をもつことができる。	・人権の尊重や住みやすい社会について考えることを通して、身近な人権問題に関心をもつことができる。

(別紙1)

令和〇年度〇中学校 心のバリアフリー障がい者理解教育全体計画 (例)

学校教育目標

--

心のバリアフリー障がい者理解教育目標

○学校の教育活動全体を通して、互いを尊重し、共に学ぼうとする人間関係を育成するための指導の充実
○障がいの特性や障がいのある人の立場を理解し、共によりよく生活するための方法や工夫について考え、行動しようとする態度の形成に向けた指導の充実

目指す生徒像

○他を尊重し、思いやりの心をもつ生徒
○障がいのある人の生活するうえでの困難さに気づき、共感することができる生徒 (目に見えない障がいも含む)
○障がいのある人を特別な存在として考えるのではなく、障がいは生涯の中で誰もが共有するものであると考えることができる生徒
○障がいのある人の立場に立って、自分の関わり方や環境の改善について考え、行動できる生徒

学級経営における重点目標

1年	2年	3年
○思いやりや感謝の心を持ち、それを行動に移すことができる学級	○思いやりや感謝の心を持ち、協調性をもって生活することができる学級	○明るい気持ちで人と向き合い、よさを認めながら、お互いに高め合い向上しようとする学級

総合的な学習の時間、特別活動、特別の教科 道徳、各教科に関する指導の重点目標

領域等	1年	2年	3年
総合的な学習の時間	・「農業」「スポーツ」を通じて、障がいのある人の困難さに気づき、共感することができる。(目に見えない障がいも含む)。 ・「キャリア教育」を通じて、障がいのある人を特別な存在として考えるのではなく、障がいは生涯の中で誰もが共有するものであると考えることができる。		
特別活動	・望ましい集団活動を通して、自他のよさを認め合うとともに障がいのある人の立場に立って物事を考えることができる。 ・障がいのある人も含めた社会の一員であることを自覚し、社会に役立つ体験をしながら、自他がともに価値ある大切な存在であることを実感することができる。		
特別の教科 道徳	・思いやりの心をもって人と接するとともに、家族などの支えや多くの人々の善意により日々の生活や現在の自分があることに感謝し、進んでそれに応え、人間愛の精神を深めていこうとしている。 ・友情の尊さを理解して心から信頼できる友達を持ち、互いに励まし合い、高め合うとともに、悩みや葛藤も経験しながら人間関係を深めていこうとしている。 ・正義と公正さを重んじ、誰に対しても公平に接し、差別や偏見のない世界の実現に努めようとしている。		
各教科	・障がいのある人に対する差別や偏見の現状や歴史を知り、人権侵害等について考えることを通して、自他の人権の大切さを理解することができる。	・多様性を認めるとともに、障がいのある人の立場に立って、自分の関わり方や環境の改善について考え、行動することができる。	・障がいのある人と共に生きる社会(共生社会)を実現するために、自己の在り方や生き方と関連させて考え、行動することができる。